

◇快方に向ひつゝある
◇昨今病院の長い廊下を松

ん快方に向ひつゝある
 ○昨今病院の長い廊下を松子
 葉枝にもたれて歩くスミナリ
 思ひ敬しつゝある
 京都東本願寺
 同胞に危険なからしめんと
 室に熱い涙をこぼした
 一人愉快相であつた
 ○殊に此の日はスミス君が
 陸せんとして群衆せるわが
 の手組を見て
 札幌病院のや
 鳥人スミス君は上人の如
 ○殊に機體に故障を生じ著
 〇鳥人スミス君は上人の如

年より今年本月より米價を
を呈しつゝあるを以て産地
年は百二十萬兩以上の産出
等當保者の息込みの疑なる

[illegible]

往診午後二時より午後六時迄
醫學士齋 勇

醫學士齋 勇

往診午後二時より午後六時迄

油

造醗

め

新刊 婦人科 産科 婦人科 産科

東京旭町一丁目 院主 衣笠 茂

電話 三三〇〇番

中央婦人病院

電話 三三〇〇番

二月五日 九月二十日

三月十日 十月七日

三月廿五日 十月廿一日

婦人科 産科

東京旭町一丁目 院主 衣笠 茂

電話 三三〇〇番

中央婦人病院

電話 三三〇〇番

二月五日 九月二十日

三月十日 十月七日

三月廿五日 十月廿一日

肥料部

東京東大門外紅葉町

電話 二六三五番

朝鮮肥料製造所

電話 二六三五番

二月五日 九月二十日

三月十日 十月七日

三月廿五日 十月廿一日

星印スー

用愛御もてに庭家御のれづい

イ褒賞に與る到 星明の界スーソるなに

東京旭町一丁目 院主 衣笠 茂

電話 三三〇〇番

中央婦人病院

電話 三三〇〇番

二月五日 九月二十日

三月十日 十月七日

三月廿五日 十月廿一日

内科 胃腸病

東京本町一丁目

電話 三三〇〇番

中央婦人病院

電話 三三〇〇番

二月五日 九月二十日

三月十日 十月七日

三月廿五日 十月廿一日

山岸

洋藥 賣藥 診療及試験器械

東京本町一丁目

電話 三三〇〇番

中央婦人病院

電話 三三〇〇番

二月五日 九月二十日

三月十日 十月七日

三月廿五日 十月廿一日

田中支店

東京本町一丁目

電話 三三〇〇番

中央婦人病院

電話 三三〇〇番

二月五日 九月二十日

三月十日 十月七日

三月廿五日 十月廿一日

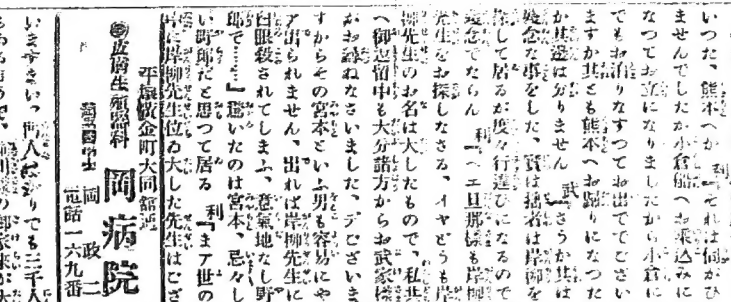
第九十五回

さて伊集一乃、友藏先生は小野治郎右衛門の身分が定まつたので大に安心したし、其後病氣も快方に癒つたから越前縣費を出で、諸方を通り其内に所屬あつて三州吉田の在二股横といふ所へ來つて足を止め、閑居したいと居りました、年八に餘るといへども天下の豪傑、桓桓々當つて大仰して居る月並の老爺さんとは違ふ、勇士豪傑に合つて勇ましい紙をするのが好きだ、毎日のやうに吉田の宿へ來ては何か珍らしい人物とを採して居る、所が前申上げた

はない、岸柳なりとも近くは居らざるがへて友藏先生に職を乞ふ、先生も當分大層ある身と知つて居るから強いても止めず、再會を期し出立をさせる、武藏屋の禮を述べ吉田を出立いだし途中急いで長井の岡を差して乘込んで切りました下の岡へ参ります、下の岡の町の旗もございせん、

武藏先生は其子を聞いて來たが、うも岸柳と行違ひになつてゐる、

柳は此今(此)つたやうに思つて



日本 十月廿九日 日曜で、何んへ
も音本をいふ名に逢ひたうと

七新
月音
號
諸君
讀著

本原 日本蓄音器協會
本町

御しやつて當分は來れなとお尋ねで
ござました武フム、おさういふ人
は、おめえさんとお申しました、それ
では一旦戻ると申しやましてお返
しに成りました氣、何處へ戻るの



[illegible]

觀川支局發展
 鐵道局承認貨物取扱店
 仁川運送組
 事務所及仁川縣組合事務所
 電話七四八番
 仁川運送組
 中村運送店
 電話五三九番
 協同運送店
 電話五二二番
 川井運送店
 電話八〇番
 慶田組運送店
 電話七二二番
 中條運送店
 電話六三三番
 大同運送部
 電話六五七番
 華興公司
 電話八三九番
 朝日組
 電話五二九番
 北海道產出商

オ リ ジナル

三選
吳名切
美以貨
小物販賣
館品見取
食料物に散
御仕立に
也京本支前
本舖安藤井筒亭

宮内省御買上用品
香水中で一番よい

ホナール

大杉商店
電話「五」又「ハ」
七日
今東京で大評判の
全國の藥店小間物

ケタラ鏡をどう色白くなるゲンシ液

美の元素色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぐキヲモ コマカに根本の色白く眞の美人英男子ニ
化粧品店に販賣す近所に品切の時代有レ、即更切下手速に送品ト東京和泉堂藥房ゲンシ液トテ買入て居ル

小瓶 二十錢
大瓶 四十錢



主効

- 子宮病
- 婦人經痛
- 逆上頭痛
- 夜眠不安
- 暗加答兒
- 下腹痛み
- 産前産後
- 血の道々
- 氣ふさぎ
- 癪高より
- 内臓炎より
- こしけり
- 腰足冷込
- つはり

[illegible]



義手足

 付
 セ
 ハ
 ロ
 イ
 ド
 便
 正
 矯
 正
 器

長

[illegible]

病には功正しき良藥あり困難の士
は往復端書にて御照會あれ詳報す
播磨國明石細工町 高砂屋商店

密京城大和商會義肢部 電話一〇二

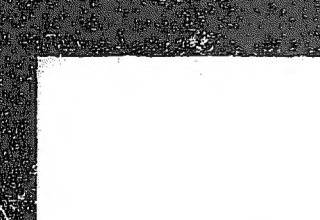
靈藥
中

将湯
 の服用で

 御申込められ
 定価 四圓分 七十五銭
 四圓分 二四五十銭
 中將湯は世界到處の藥店に販
 賣す市內區送無料
婦人衛生手引
 無代進呈 三郎發

文政御知連れる
 船
 學生、吏員自轉車旅行大に足る
 動物球評各階級に適し是迄流行
 動野球場各階級に適し是迄流行
 包五種材料共六拾五錢
 五錢前金漆料四錢不替
 の時運金茶店販賣不振
 町通南區瓦屋敷町日野商

健胃固腸丸
 大發谷回春堂
 利便處藥店あり
 食傷 寢冷
 時候あたりから
 起下痢と腹痛を治す
 薬價 貳千貳百貳拾圓可賣
 京成黄金二丁目
 永樂町磨所北入
堀佐營業所
 電話六三九



江 樓

つて可愛い子を儲けた
ける事實が千言萬語に
優も確な効驗の證明





湯將中

本館

東京日本橋區四丁目
津村順天堂本店
常盤口馬六八番
大坂市堺区大馬路
津村順天堂支店
常盤口馬二十五番
細路口馬五十六番

本家は明治廿四年創業の老舗で、
滋養口完全なる家庭療法、胎前産
後の秘法等と、知名の専ら、婦人
士が親切平昌に受べられた婦人
化の寶典として、秘宝二銭封入御中
込めあれば御代運送します。

○**簡易保險法**
布公

▲選擇指導に失するべからざるなり
近頃中學生の好同伴と稱する者あり表面甚だ其の内に拘らず其の内容には兎を置くに至つた兩國の協議なるやればならぬ秋なのだ

輸入貨物九萬七千四百六十三個(八十一) 五千五百(十二) 米穀類
三十三百四十九頭 輸出貨物四萬四千四百零五個(八十二) 一千四百零五個(十三)

●郵便物配達回数 京城郵便局にては十一日より九月十日迄郵便程正直なものはないよ。然り々

教授講習會開けり 講習時間は毎日午前八時より午後四時までなり

際を示して居る▲見給へ日本砲の威力を發揮して置て露軍はダン勝利を占めて居るではないか實に正直なものはないよ。然り々

日韓書籍房

新報廣告

浪六著 人の垢

定價 九十五錢

堀川文 初對面

定價 九十五錢

學士著 禪學新論

定價 八十錢

忽天著 解說新撰外史

定價 八十錢

直文著 改訂新撰外史

定價 八十錢

教育學術 聖タゴール

定價 八十錢

研究會編

池田季雄

宗廟

城一振

市四

町五

丁二

目三

二五

イゲダ小兒病内科醫院

京城三越裏服店前へ入る旭町四丁目

電話 二三四番

（自宅）ハハ〇番

仁川醫學部

六月 中仁川醫學部

國幣九千六百三十三圓にして、資本金

實物中百個以上のものは米三百九

二千二百八十五個の内、百個以上のもの

裏面から見た社會

同時に戦争に對して一種の利

▼殺害して金品を

引致の途中投身せいしゅう

渡航中に溺死

したる犯人はすぐ傍にある電

同里千斗妻丁姓女

吉に貸金ある事を知り悪心を

五月十五日、蘇摩力に到り、自任の使たりと偽はり、金員を要求し、浦津に渡出せ、爾來捜索中の日平要新降、鹿谷方に潜伏中たる際、草刈鎌を以て大に斬り害せんとしたるも、居合はせられたるに違ひ、此群婦となりなるに引致され、速布は其腕の手に引致さ

●鮮婦人貯金組合
居住朝鮮人五十餘名は本年未婦人貯金組合なるものを組織し、少量の貯金を爲し、將來養老給等の事業を起さんとの計畫あり。近き加入者増加し二百名以上を得べき見込みなり。日本組

日平要新降、鹿谷方に潜伏中たる際、草刈鎌を以て大に斬り害せんとしたるも、居合はせられたるに違ひ、此群婦となりなるに引致され、速布は其腕の手に引致さ

郡を
 日徳
 印章
 取せ
 鳳を
 大なる
 十圓
 費給
 龍記
 金龍
 部長
 五月
 其に
 臨飲
 醉を
 時記
 録を
 しむ

はあるが昔の淺草式、ケ
 色彩中に音相する樂隊が
 物を呼んで晝夜二回の興
 の客足を曳いてゐる、曲
 といふのは十幾位から十
 二幾位の縮腰踊りのほと
 しい金銀の光り眩しいい
 光るジャヤケを着て
 常に美しい、そして然當
 するといふ大なる格のト
 の鯉の踊上り、三本もある
 山田自在運動する位にお
 運、儼しい身振を舞の
 様に樂に振かつて見物客
 せる様な色づいた事をす
 本々、覗いて見ると何
 注ぎ額は二十銭に十銭式

讀者文藝(一)

生海

〆〆〆

[illegible]

<p>五番門 673</p> <p>興幸天程度 あれた二名要</p> <p>張店 677</p> <p>人北御中 676</p> <p>御世而致</p> <p>和介所</p> <p>船遊び法を 御救命器</p> <p>樂社 672</p> <p>宮サヅク外 品製造御</p> <p>商會 674</p> <p>通大橋門前 貸付道知堀</p> <p>金全</p> <p>慶年九時 御車會 50</p> <p>松田秀男 50</p> <p>守 632</p> <p>しんじき 應下</p> <p>道場</p>	<p>竹隣院</p>
--	------------

[illegible]

市場
太兵衛
再造
太郎

樂器買入
京成大和町
一ノ三三五
京成太平通
分礦物々々
拆電話一三四四
大邱吉

消毒全乳
大邱吉

萬葉物商若宮
京都春川町
京成春川町
南大門通
電話一八九五
支店京都三六
京都三六

尺入授竹
京都三六
京都三六
京都三六
京都三六

角力
ハ力角
時計屋
ムラ

蠶繭
京成龍山漢江通
河原壽士

販賣
下宿店
日朝
池田

販賣
日朝
池田

地舖
絲店
證四三二番

素
鋪計時
店支城
番一七五話

京木村
旅城京
時不旅
町木村



特別
劃引

電話四三番
牧場
完全
力拆所
種
一二五
608

金器店
金銀買取
オパール
イオリ
665

會入會
三入の
山樂器店
田雜貨店
内日

金正入會
648
働車
時出賃

金片邊四創
634
工塲

龍山齒科醫院
齒科 日診診療
龍山 龍山
電話 五五五

店員入用
希望者 願 書 出 張
京 城 本 町

無料紹介
日勤月各級業務者 湖世
黄金山 無料紹介
丁 日勤 無料紹介

遊船
開始し 地曳網投網船遊
水陸電車 貸出
伊豆山電車 貸出

共樂
コム風物 二六六
コム風物 二六六
コム風物 二六六

間自働車
京成 間自働車
京成 間自働車

ほねつき
一切の治療御預に願す
明治 柔術道

052 50 計	053 67 計	054 67 計	055 71	056 67 年度	057 72
----------	----------	----------	--------	-----------	--------

萬染物商 若宮染工

京都府龍山漢江通入番地

河原壽夫 繭絲

電話四〇

京都府龍山漢江通入番地

河原壽夫 繭絲

電話四〇

京都府龍山漢江通入番地

河原壽夫 繭絲

電話四〇

京都府龍山漢江通入番地

河原壽夫 繭絲

電話四〇

京都府龍山漢江通入番地

河原壽夫 繭絲

電話四〇

京都府龍山漢江通入番地

河原壽夫 繭絲

電話四〇

京都府龍山漢江通入番地

河原壽夫 繭絲

電話四〇

京都府龍山漢江通入番地

河原壽夫 繭絲

電話四〇
